

メタボドッグ

最近話題の「メタボリックシンドローム」。内臓脂肪の蓄積により、高血圧・糖尿病・脂質異常症を合併して動脈硬化につながるといわれています。

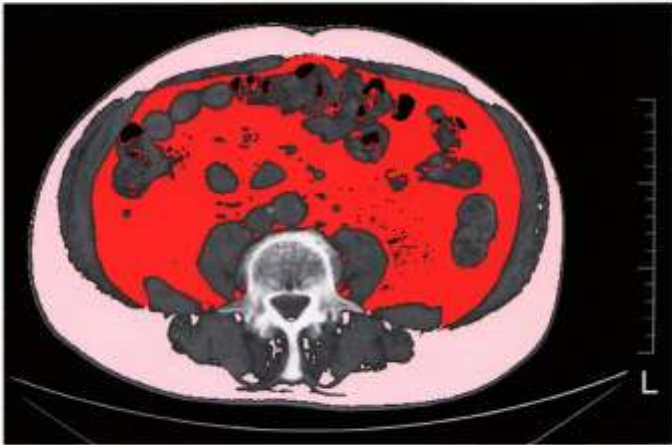
今あなたの内臓脂肪はどれくらいありますか？ 動脈硬化の危険度は？
善玉ホルモンーアディポネクチンは足りていますか？ この機会に測定してみましょう！

1) 内臓脂肪面積測定（ファットスキャン）

ファットスキャンはCTでおへその位置を撮影し、お腹の**内臓脂肪**と**皮下脂肪**を区別させ、腸や筋肉、骨を除いていき脂肪の部分のみの面積を計測するソフトです。

男女とも内臓脂肪が **100 cm²** を診断のボーダーラインとしています。検査時間は **5分程度** で終了し、その日のうちに結果をお渡しすることができます。

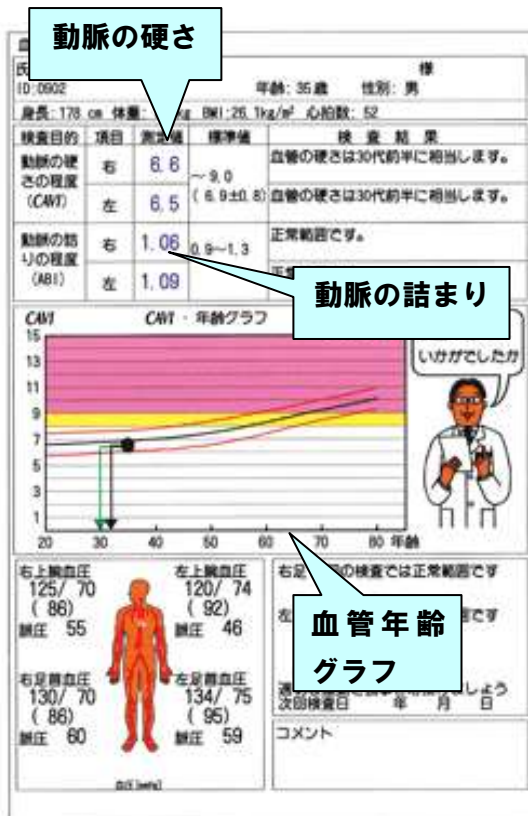
検査結果例

【あなたの計測CT写真】	【あなたの検査結果データ】
	内臓脂肪の面積 (赤色の部分) 185.5 cm ²
	皮下脂肪の面積 (ピンク色の部分) 144.1 cm ²
	全体脂肪の面積 329.6 cm ²
	体格指数(BMI) 33.04 (BMI=体重kg÷(身長m) ²)
	理想の標準体重 62.5 kg (理想体重kg=(身長m) ² ×22)

あなたの肥満度・脂肪分布の診断と評価

内臓脂肪の面積が150cm²以上のあなたは、「内臓脂肪が非常に多い」状態です。すでに多くの生活習慣病が合併し、「メタボリックシンドローム」がより進んだ状態で、動脈硬化の治療が必要となっている可能性が高いです。医師による定期的な管理が必要です。

2) 動脈硬化検査 (CAVI 検査)



この検査で何がわかるの？

動脈硬化の指標となる動脈の硬さと詰まりがわかります。左図が検査結果です。

動脈の硬さ…CAVI (キャビィ) : 血管の硬さが何歳相当であるか(血管年齢)がわかります。

動脈の詰まり…ABI (エービーアイ) : この値が 0.9 を下回ると動脈が詰まり気味で血流が悪くなっている可能性があります。

動脈硬化検査はどのような検査か？

上腕と足首の血圧を計ります。ベッドに仰向けになり上腕・足首にカフ(血圧を計る時に巻きつけるもの)を巻き、心臓の音をひろう心音マイク、心電図用の電極もつけます。検査は4~5分程度で終了します。

3) アディポネクチン測定

アディポネクチンは脂肪細胞から分泌される“超善玉”ホルモンです。高血圧、糖尿病、脂質異常症、動脈硬化という生活習慣がもたらす危険な病気を未然に防ぎ、健康を維持してくれる作用があります。さらに、最近では抗がん剤と同じような作用があるとしても注目されています。アディポネクチンは、内臓脂肪が増えれば増えるほど、その分泌が低下し血液中の濃度が低下するので、生活習慣病を発症しやすくなります。肥満を改善し、内臓脂肪を減らすことはアディポネクチンの分泌を正常化させ、低アディポネクチン血症の改善につながります。

4) 血液検査 (脂質異常症、糖尿病)

HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪、血糖、HbA1c